FUJIFILM
I&I – Imaging & Information

FUJIFILM NEWS

株主のみなさまへ

DECEMBER 2004 *vol.67*

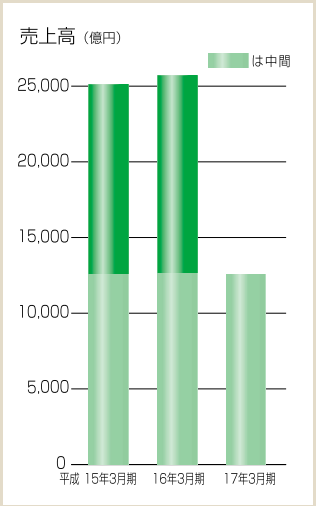
財務ハイライト

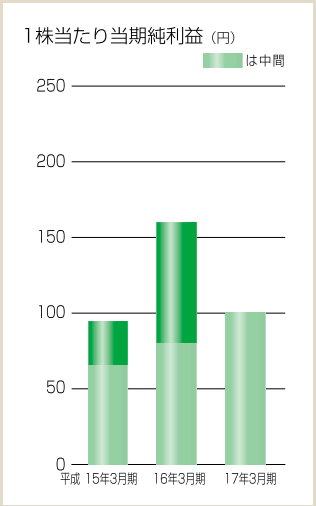
単位：百万円（1株当たり中間純利益は除く）

	連結		単独	
	平成16年度中間期	平成15年度中間期	平成16年度中間期	平成15年度中間期
売上高	1,252,925	1,259,779	395,528	376,339
税引前利益	105,935	81,063	37,865	40,404
中間純利益	52,706	41,112	24,190	26,117
1株当たり中間純利益(円)	102.71	80.10	47.13	50.88
資産合計(期末)	2,996,808	3,006,953	1,759,540	1,691,769
資本合計(期末)	1,831,348	1,703,648	1,526,541	1,484,338

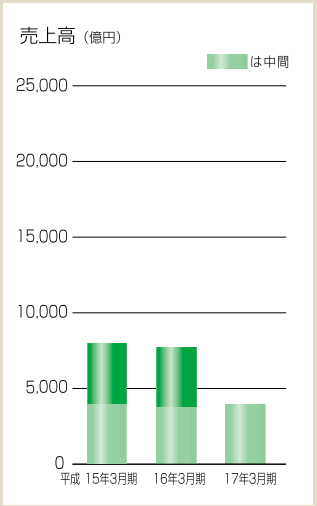
注）1.単独業績の表示は、税引前利益が経常利益となります。
2.平成16年度中間期 連結税引前利益及び連結中間純利益には、富士ゼロックス厚生年金基金の代行部分を返上したことにより生じた利益の額が含まれております。

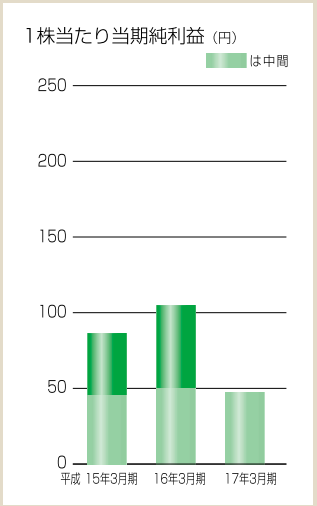
■ 連結





■ 単独





表紙写真／東田裕二氏撮影（北海道 上士幌町）

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)における世界経済を概観すると、米国経済は、雇用情勢に改善傾向が見られるなど、個人消費を中心に概ね堅調に推移しましたが、期後半にかけて景気減速懸念が台頭してきました。欧州経済は、好調な外需に牽引される形で企業の景況感は持ち直してきましたが、個人消費は低調に推移しました。デフレからの脱却が期待される日本経済は、民間設備投資の増加等により景気は回復傾向を示しましたが、雇用情勢は依然として厳しい状況で推移し、個人消費の回復は緩やかなものとなりました。

このような状況下、当社は、イメージング、インフォメーション、ドキュメントの各分野において積極的な事業展開を図り、事業領域の強化・拡大に努めました。この結果、当中間期の連結売上高は1兆2,529億円、単独売上高は3,955億円となりました。利益につきましては、連結の税引前利益は1,059億円、当期純利益は527億円、単独の経常利益は378億円、当期純利益は241億円となりました。

当中間期配当金につきましては、1株当たり12円50銭に決めさせていただきました。

次に連結売上高の部門別ハイライトをご説明させていただきます。イメージングソリューション部門におきまして、当社は、デジタルイメージングだけに偏ることなく、銀塩の特長を活かした新たなソリューションにも積極的に取り組み、幅広い製品・サービスをご提供しています。具体的には、レンズ付フィルム「写ルンですNight & Day」の拡販を強化したほか、10月には、ISO1600フィルム「NATURA 1600」とコンパクトカメラ「NATURA S」との組み合わせによって、屋内や夜間などでもノンフラッシュ撮影で、人間の目で見たような自然で奥行きのある雰囲気の撮影を可能とした「NP(ナチュラルフォト)システム」NATURAを発売しました。FinePixブランドでご好評をいただいているデジタルカメラでは、今中間期において様々なスタイル・特徴をもった新製品を続々と発売し、ラインアップの強化を図っております。当社が重点的に拡販を進めているデジカメプリントにつきましては、デジタルミニラボ「フロンティア」の販売が好調に推移したことやテレビCMで認知度向上を図っていること等の効果もあり、前年比3倍近い大幅な伸びを示しました。

インフォメーションソリューション部門におきましては、医療診断用製品では、FCRやイメージャ等の機器製品に加え、「バルーン付電子小腸鏡」や「経鼻内視鏡」等の内視鏡製品の販売が伸長しました。印刷システム関連製品では、世界的なCTP化の進展に伴い、CTP関連製品の販売が増加しました。当社は、この需要増加に対応するため、米国、オランダ、中国及び日本における世界四極生産体制の強化を進めております。成長著しいフラットパネルディスプレイ材料事業では、「フジタック」や「WVフィルム」を中心に、大幅な販売増を実現しました。また、今後も需要が拡大すると予測しており、新たに熊本県に「フジタック」の工場用地を取得することを決定するなど、積極的に生産能力増強を推進しております。記録メディアでは、当社独自のナノキュービックテクノロジーを採用した大企業向け基幹システム用データカートリッジの販売が好調に推移しました。光学レンズの分野では、カメラ付き携帯電話市場の拡大に伴い、当社独自のレンズ技術を搭載した「フジノンブランド」のメガピクセル対応レンズユニットの販売が着実に増加しております。

ドキュメントソリューション部門におきましては、オフィスプロダクト事業では、2004年1月に発売した知的カラー複合機「DocuCentre Color新シリーズ」の販売が引き続き好調に推移しました。プロダクションサービス事業では、デジタル印刷市場の拡大をビジネスチャンスと捉え、国内外において積極的な販促活動を展開しております。欧米向け輸出においては、デジタルカラー・オンデマンド・プリンティングシステムの販売台数が前年比倍増となったほか、国内においては、高画質と高生産性を兼ね備えた「DocuColor iGen3 Digital Production Press」を市場導入しました。さらに、デジタル出力機器を一堂に会した「デジタルプリント・イノベーション支援センター(epicenter:エピセンター)」をオープンしました。収益性に優れた次世代のデジタル出力のビジネスモデルを構築する場として活用し、お客様へ新たな付加価値を提供するとともに、デジタルプリンティング市場の拡大に取り組んでまいります。

中期経営計画「VISION75」で掲げた目標の達成に向け、現在、富士フイルムグループ一丸となって様々な課題に取り組んでおります。国内イメージング事業の営業機能を新会社 富士フイルムイメージング(株)に一元化し、流通・販売体制のスリム化を実現したほか、富士フイルムグループ内の資金の一元管理と効率的な運用を可能とするキャッシュマネジメントシステムを導入するなど、既に具体的な形となって表れている事例もございますが、今後さらに改革を推し進め、強固な経営基盤の確立と競争力の強化・成長を実現し、株主価値の向上を目指してまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役社長・CEO　古森重隆

富士フイルムが強力に推進する
デジカメ「お店プリント」最前線!

デジカメプリント販売の拡大が続くアイデア溢れるミニラボ店

デジタルカメラとカメラ付き携帯電話の普及に伴い、写真を撮る人が急増し、撮影した画像をプリントしたいというお客様のニーズも高まっています。今回は、富士フイルムが強力に推進する「お店プリント」の最前線であり独創的なサービスと店頭ディスプレイでデジカメプリントの販売を拡大しているフジカラーのお店「SNAPS！川口キャラ店」を取材しました。

「SNAPS!川口キャラ店」(埼玉県川口市)

写真の魅力を再発見

シックなインテリアで統一された「SNAPS!川口キャラ店」は、“デジカメプリントの楽しみ方”や“デジカメプリントの飾り方”など、新しいアイデアに溢れた提案ディスプレイを充実させ、ご来店くださったお客様が写真の新たな魅力を発見出来るようなお店になっています。

増え続けるデジカメプリント

埼玉県川口市のショッピングモール「ダイヤモンドシティ・キャラ」内にある同店舗には、毎日100名以上のお客様が間断なくお越しになり、最近ではデジカメプリントの注文が急速に増加しています。「当店ではデジカメプリントが前年比200％以上の伸び率で増え続けており、プリントの枚数にして約40,000枚／月のご注文をいただいています。ネガフィルムからのプリントもほぼ同数ありますが、デジカメプリントは今後さらに伸びていくと考えています。カメラ付き携帯電話からのプリント注文も増えています」(「SNAPS!川口キャラ店」店長 中里さん)

お客様がダイヤモンドシティ・キャラでの買い物前に来店され、店頭受付システムから注文し、帰りに立ち寄られるとプリントが仕上がっているというスピードもお客様に喜ばれています。

付加価値を高める

アイデア商品

プレゼントに最適
「ギフトボックス」

カラフルで楽しさあふれる
「フォト名刺」

油絵タッチの高級感
「キャンバスアート」

中里店長お勧めの店頭受付機「フロンティアジョイ-S」。
画面にタッチするだけの簡単操作でお客様から好評です。

デジカメプリントは簡単・便利

同店舗には富士フイルムの店頭受付機が4台設置してあり、お客様はデジカメやパソコンのメディア、CDなどをお持ちになり店頭受付機で注文されます。どんなメディアからでも好きなコマを選んでプリントできるのは、デジカメプリントならではの簡単・便利さです。「この店頭受付機は、タッチパネル方式で操作が簡単なほか、画面に表示される用語を分かり易くするなど、パソコンに不慣れなお客様でも簡単にプリント注文できるような仕組みになっています。また初心者の方でも使いやすいように、お店では受付機の周りにオリジナルPOPを飾るなど様々な工夫をしています」(店長 中里さん)

店頭受付機「オーダーキャッチャー」

さらに便利なネットプリントサービス

自宅にいながら24時間、インターネットでデジカメプリントの注文ができる「フジカラーネットサービス」を利用されるお客様も増加しています。ネットサービスについて「前夜にご自宅で注文され翌日*に来店されてプリントを受け取られるお客様も増えています」(店長 中里さん)

＊地域によっては、仕上がり時間が異なる場合があります。

「フジカラーネットサービス」のweb画面
デジカメプリントなどのサービスが下記のURLの画面から注文できます。また、携帯電話からのプリントサービスもこの画面で紹介しています。

「フジカラーネットサービス」
http://www.fdinet.jp/

デジカメプリントを支える製品・サービス

デジタルカメラからの超高画質なカラープリント
デジタル画像を、超高画質・長期保存が可能な銀塩カラープリントに。

フジカラーのお店

フロンティア　店頭受付システム

フジカラーネットセンター

インターネットで写真を注文できる
自宅からネットで注文、近くのお店で受け取ったり、郵送で受け取ることも。

自宅のパソコンから

カメラ付き携帯電話から

CD書き込みサービスも!
フィルムの画像をデジタル画像にするフジカラーCD
同時プリント時にデジタル画像としてCD-Rに書き込み、パソコンで見たり、eメールで送ったり、加工することも。

デジタル画像を年賀状ポストカードに

同店舗では、昨年はフジカラーポストカードの受注が飛躍的に伸びました。その内、デジタル画像からの注文が約60%を占めています。フジカラーのお店では今年より1枚のポストカードに3、4枚の画像を配置できる「多画面タイプ」など、新しいタイプも登場しました。

デジタル写真の世界は可能性に溢れています。これからも「フジカラーのお店」と「富士フイルム」はそのパートナーシップによって、お客様の利便性の向上や思い出づくりのサポートに力を入れ、「カンタン・キレイ・色あせない」デジカメプリントの世界を限りなく広げていきます。

光が映像へ、情報へ、そして通信へ…

精密光学技術のトップランナー フジノン

「写ルンです」やデジタルカメラ「FinePix」、これらの製品には高画質画像を生み出すためにわずかな光も捉える「フジノン」の高性能レンズが搭載されていることをご存知でしょうか。
「光の入り口」を支えるフジノンレンズは、デジタルカメラ用レンズはもちろん、テレビ放送用カメラレンズ、医療分野の内視鏡用レンズ、さらには大型天体双眼鏡など幅広い分野で活躍しており、世界各国のユーザーに愛用されています。
これら高性能レンズの光学技術を支えてきた「富士写真光機(株)」は、フジノンブランドの認知度をさらに高めていくために、2004年10月1日より社名を「フジノン(株)」に変更いたしました。

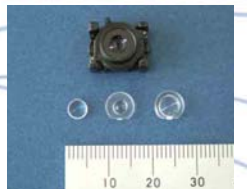
多分野に展開するフジノン製品

デジタルカメラ

デジタルカメラ用光学系パーツ
デジタルカメラは、高画質化に加え、小型・薄形化が求められています。フジノンは高度な技術を駆使し、高性能レンズユニットの開発・製造に取り組み、これらのニーズに応えています。

デジタルカメラFinePix F455
薄さ約22mmのスリムなボディには、新開発のフジノン超薄型光学式3.4倍ズームレンズが搭載されています。

カメラ付き携帯電話用レンズ



カメラ付き携帯電話用レンズユニット

放送用テレビレンズ シネマ用レンズ

世界一

報道を支える101倍ズームTVレンズ
フジノンTVレンズは放送用ＴＶレンズで50%のシェアを誇ります。世界最高倍率の101倍ズームレンズは月面のクレーターまで鮮明に撮影できます。

医療診断機器 電子内視鏡

世界初

電子内視鏡システム「サピエンティア」
放送用ハイビジョンレンズで培った光学技術、高性能スーパーCCDハニカム™、独自の画像処理技術など、富士フイルムグループの総合力を結集して開発した先進の次世代高画質フルデジタル電子内視鏡です。

光学機器

世界標準

レーザー干渉計
レンズ、プリズムの表面形状を測定する干渉計を独自の技術で開発しました。多くのレンズメーカーが使用する世界標準です。

オンリーワン

防振双眼鏡・大型双眼鏡
防振双眼鏡・大型双眼鏡の開発・製造力があるのは世界でもフジノンだけ。多くの天体観測者によりフジノン大型双眼鏡を使ってたくさんの彗星が発見されています。

カメラ付き携帯電話に高性能レンズを供給
トップシェアを誇るフジノンレンズ

携帯電話のカメラ機能は驚くべきスピードで高性能化が進んでいます。当社はこのトレンドを先取りする形で開発を進め、高性能レンズユニットを携帯電話メーカーに供給しています。

カメラ付き携帯電話向けのレンズは小型・軽量が求められるとともに、搭載されるＣＣＤの高画素化に合わせた高度なレンズ光学技術が必要となります。当社のレンズユニットはガラスレンズとプラスチックレンズを駆使して隅々まで歪みのないクリアでシャープな画像を実現しており、お客様より高い評価をいただいています。

現在全世界でメガピクセル以上のカメラ付き携帯電話に組み込まれているレンズユニットの50%以上にフジノンレンズが使われています。このフジノンレンズとスーパーＣＣＤハニカム™を組み合わせて、富士フイルムならではの高性能メガピクセルカメラモジュールも開発しており、国内外の携帯電話メーカーに供給しています。

フジノン水戸のプラスチックレンズ成形工程
「写ルンです」にも搭載されているフジノンのプラスチックレンズは月産5000万個を超えており、世界一の規模を誇ります。
ＤＶＤに搭載される光学系部品では、特に高い精度の品質が求められますが、徹底的な品質管理を行い、安定的に高品質レンズを生産し続けています。

富士能(天津)光学のプラスチックレンズ組立工程
中国天津市にある富士能(天津)光学ではカメラ付き携帯などに搭載されるレンズユニットの組立てを行っています。
近年、カメラ付き携帯だけでなくデジタル家電の販売も急増しており、今後の光学デバイスの需要拡大が見込まれることから、各種光学デバイスの組立てを行う新たな工場を建設中です。

フジノンレンズによるシャープな画像で病巣を早期発見
トップレベルの高画質映像を実現する電子内視鏡

医療診断分野の電子内視鏡にもフジノンレンズが搭載されています。内視鏡による診断は、色と形状の変化から病変を探るため高画質映像が不可欠で、かつ患者への負担を軽減するため極細化が求められています。

当社は、高性能フジノンレンズを搭載して高画質画像を追求するだけでなく、「バルーン付電子小腸鏡」や「経鼻内視鏡」など付加価値の高い検査を可能にするユニークな製品を開発しています。富士フイルムはこれからも一歩先を行く技術開発で他社と差別化できる製品を提供していきます。

経鼻内視鏡

2003年に発売した「経鼻内視鏡」では内視鏡の極細化を実現しました。これにより内視鏡を口からではなく鼻から通して入れることが可能となり、嘔吐感を押さえるなど患者の負担を大幅に軽減しました。さらに富士フイルムの高画質CCDとフジノンレンズの搭載により、病巣の早期発見に不可欠な高画質をも実現。操作性の向上・軽量化・高画質化を徹底追求したフジノン「経鼻内視鏡」は医師からも大きな支持を得ています。

従来型(上)直径約１cm
「経鼻内視鏡」(下)直径5.9mm

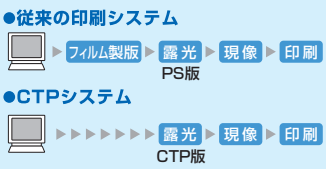
経鼻内視鏡のご導入先病院一覧はこちらからご覧になれます。
http://www.fujinon.co.jp/jp/products/medical/index-02-1a.htm

デジタルPS版

米国でCTP版の新工場稼働！

CTP版の新工場が完成した米国サウスカロライナ工場

毎日読まれている新聞や雑誌を印刷する際に必要なPS版(Presensitized plate)が誕生してはや40年、近年では印刷処理技術の発展とともに、高画質・高生産性を実現するデジタル方式のPS版「CTP版」の普及が世界各地で進んでいます。富士フイルムのCTP版は、その品質の高さが評価され、世界各地で需要が拡大しています。米国サウスカロライナ工場では、2004年8月、CTP版の新工場が稼働を開始しました。



CTP版とは？

CTPとは、Computer to Plateの略。デジタル方式の印刷刷版材料のことで、コンピューター上で制作した印刷データを高出力レーザーで直接書き込むことができる感光性アルミプレート。このプレートが印刷機にセットされ、印刷が行われる。

全世界に向けて円滑なCTP版供給を実現

2004年8月、米国サウスカロライナ州グリーンウッドにあるFuji Photo Film, Inc.では、印刷用CTP版の新工場が完成し、稼働を開始しました。これにより、従来のPS版とともに需要が増大する北米・南米地区へ、高品質CTP版を円滑に供給する体制が整い、従来に増して充実したサービスの提供が可能になりました。

富士フイルムグループは、今回拡張した米国サウスカロライナ工場とオランダ・中国・日本の工場による印刷用プレートの世界4極生産体制のもと、PS版およびCTP版をグローバルに生産することで、全世界に向けて円滑な供給を実現し、世界の印刷産業を支えていきます。

フォトキナ2004

2004年9月28日～10月3日、ドイツ・ケルン市において開催された「フォトキナ2004」に、富士フイルムは「Fujifilm. Picture the Future」をテーマに、銀塩からデジタルまで幅広い製品の展示や、大伸ばしを含む多彩な写真プリントの作品展示で「新たな写真の楽しみ方」を提案するなど、デジタル時代における、写真の将来の方向性と可能性を提案しました。大切な思い出づくりに欠かせない写真文化を守る活動と、あらゆるお客様が求めるトータルソリューションを提供していく当社の姿勢をアピールしました。

連日、大勢の来場者で熱気にあふれる富士フイルムブース

店頭受付機のデモンストレーション

当社ブースは、超大伸ばしプリントや大画面スクリーンを使用したステージショーによってスケールの大きさと躍動感を表現し、特にデジタルミニラボのコーナーでは「デジカメでの撮影」～「店頭受付機での注文」～「プリント」を５分以内で仕上げるサービスを来場者に体験していただき、デジカメプリントの簡単・便利さと同時に「FinePix」と「フロンティア」という超高画質の入出力機を保有する富士フイルムの強みをアピールしました。

また、“Theme Exhibit”というコーナーでは、未来のデジタルカメラや近未来写真店など当社が描く近未来写真ライフを提案し、来場者の注目を集めました。

デジカメコーナー

デジカメコーナーでは、新製品を中心に16機種のラインアップを展示。特に富士フイルムの技術の結晶である高級機「FinePix S3 Pro」は注目の的となりました。

お店プリント

デジタルミニラボのコーナーでは、お客様をお待たせせずに高画質プリントを提供できる、超迅速処理を実現した「フロンティア570」を紹介。他の追随を許さないその機能性に、来場者から高い評価が集まりました。

ライフスタイルギャラリー

超大伸ばし写真プリントを含む多数の作品を展示した「ライフスタイルギャラリー」。多彩な作品展示により写真の持つ価値や素晴らしさを訴求し、写真文化を守る当社の姿勢をアピールしました。

Topics

新次元のデジタル・プロダクション・システム
「DocuColor iGen3 Digital Production Press」！
富士ゼロックスが新たなサービスを創造する

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

先進のビジネスステージ「epicenter（エピセンター*）」を品川にオープン！

*epicenterとは「エグゼクティブ・プリント・イノベーション・センター」の略です。

**2004年9月1日、品川インターシティにオープンした「epicenter」は富士ゼロックスのデジタル出力機を一堂に集め、様々なアプリケーションの制作や新たなビジネスモデルの構築、あるいはビジネスパートナーとの協業の場として活躍しています。
今回はこのepicenterのコンセプトや、富士ゼロックスの最新鋭プロダクションプリンティングシステム「DocuColor iGen3」について紹介します。**

DocuColor iGen3 Digital Production Pressのデモンストレーション

品川インターシティにオープンした「epicenter」

epicenterのコンセプト

epicenterは、様々な印刷業務についてお客様とともに課題を解決する場として各種サービスを提供します。最先端のデジタル出力技術を学びながら、実際に運用中のソリューション事例などを体験し、お客様自身で問題や課題を発見していただくことを狙っています。

国内外のマーケティングの専門パートナー企業と富士ゼロックスが協力し、テクニカルおよびプロセスの両面から最新技術やノウハウを提供。案件ごとにきめ細かく対応し、お客様の目指す新たなサービスを創造します。

epicenterでは、お客様が抱える具体的な課題やニーズに応じて最新出力機のデモンストレーションが行われています。中でも最新鋭のフルカラーオンデマンドプリンティングシステム「DocuColor iGen3」は注目を集めています。

DocuColor iGen3

「DocuColor iGen3」は、数多くのお客様の声を技術ノウハウとして結集し、100以上の新特許技術を採用しました。これまでにない高画質と毎分100ページ（A4判）という高生産性を誇り、欲しい内容を必要な時に必要なだけプリントする高度なオンデマンド印刷に対応しています。さらに、情報処理と商業印刷の融合によって、顧客一人ひとりの趣向を紙面に反映させた販促ダイレクトメールの提供が可能になるなど、従来の印刷システムとは異なる新たな付加価値の提供を実現しています。

DocuColor iGen3 Digital Production Press

国内販売流通プロセスをスリム化
富士フイルムイメージング発進！

2004年10月1日、「富士フイルムイメージング㈱」がスタートしました。

新会社は、㈱フジカラーイメージングサービスと富士フイルムアクシア㈱を統合するとともに、富士写真フイルム㈱の写真関連材料および機器の国内営業機能と、フジノン㈱におけるフィルムカメラの国内営業機能を移管し、国内イメージング事業の営業機能を一元化しました。

また、新会社発足にあわせて、写真関連大手特約店より、富士フイルムグループ製品の営業を譲り受けました。この一元化によって、国内流通プロセスのスリム化を果たすとともにお客様に近い立場で、今後、一層の営業・サービスの強化を図っていきます。

3つの色が重なると写真ができる…
子供たちが写真実験を体験！
「未来創造フェスタ・先端技術フェア」に出展

2004年8月27～30日、東京国際フォーラムにおいて、青少年の創造性を育むことを目的に社団法人発明協会主催「未来創造フェスタ・先端技術フェア」が開催され、家族連れを中心に4万人以上の方が来場しました。会場では世界の先端技術企業14社が考える未来の世界が提示され、富士フイルムは未来のカメラを提案するとともに、来場した大勢の子供たちに写真の原理を伝え、楽しい体験を通して富士フイルムに親しみを持っていただきました。

カラー写真の現像実験を通して、カラー写真がシアン・マゼンタ・イエローの3色の組み合わせでできていることを紹介。

未来のカメラ

コンセプトモデルとして出展した当社提案の未来のカメラは、その斬新なスタイルと撮影方法に注目が集まり、多くの来訪者から関心が寄せられました。

520万画素、光学3.4倍ズーム、2.0型液晶モニター搭載、
持ちやすく、バッテリー長もち。機能的なデジタルカメラ

FinePix F455

持ちやすく美しい薄さ約22mmのスリム＆コンパクトボディに高性能を凝縮。有効画素数520万画素のCCDに加え、独自の画像処理システム搭載により、なめらかな階調と自然な色彩を再現し、大きくプリントしても納得の高画質が得られます。新開発フジノン光学式3.4倍ズームレンズと大画面2.0型カラー液晶モニターに加えマクロ撮影、音声付き動画撮影や、人物・風景・スポーツ・夜景を最適な設定で撮影できるシーンポジション機能を搭載。スタイリッシュなボディは美しい黄金比デザイン（縦1：横約1.6）にすべり止めグリップを採用、ボディカラーはクールな「シルバー」と精悍な「ブラック」から選べます。

ノンフラッシュ撮影で夜景や室内の情景も目で
見た雰囲気通りに！

「NP（ナチュラルフォト）システム」NATURA

フラッシュを使わずに、自然な雰囲気の写真が誰でも簡単に撮影できるように開発したシステム「ナチュラルフォトシステム」。ISO1600の超高感度フィルム「NATURA 1600」と、明るいレンズ（F1.9）及び自動的に最適な露光量にする独自の露光制御プログラムを搭載した新開発のコンパクトカメラ「NATURA S」の組み合わせにより、見た目通りの自然な描写を実現しました。

通常のコンパクトカメラ

NATURAで撮影

高い処理能力と信頼性を備えたモノクロデジタル複合機
オフィスでの高速・大量出力を実現し、
効率的なコピー業務を提供

富士ゼロックス DocuCentre f1100

コピー、プリンター、スキャナー機能を標準装備したモノクロデジタル複合機。解像度600dpiの高画質で110ページ／分の高速コピーとパソコンからの高速プリントを実現しました。大容量9,080枚給紙で、長時間のコピー業務を確実にこなします。スキャナー機能は紙文書からのデジタル化を容易に実現できます。マネジメントソフトウエアとの連携により、管理コストを含めた総経費の削減、ドキュメント管理の簡素化を実現しました。

CSR Report

社会から信頼される富士フイルムであるために

富士フイルムのCSRビジョン

社会に対する企業の影響力が大きくなるに伴い、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）への取り組みが強く求められています。富士フイルムのCSRの基本は、まずお客様のニーズに応えた高品質の製品をつくり、また、安定した収益・雇用の確保と環境配慮・社会貢献が重要であると考えています。この経営の基盤であるCSRを果たすため、企業倫理・コンプライアンスに則った活動、環境配慮と製品の安全性に取り組んできましたが、これらの活動を経済・環境・社会のバランスをとりながら全社的に推進するために、2004年4月に「CSR推進部」を設置しました。「CSR推進部」は、「コンプライアンス&リスク管理部」と「環境・品質マネジメント部」を部内組織として持ち、同時にCSRに関する多様な課題に関連部門と協力して統合的に取り組んでいます。富士フイルムグループが一丸となって全てのステークホルダー（お客様、お取引先、株主、地域社会など）の皆さまから信頼される企業に発展することを目指します。

「インターナショナル・ステークホルダー・ダイアログ」を開催

企業の社会的責任を果たすうえで、企業の説明責任や透明性は、より重要度を増しています。富士フイルムは、さまざまなステークホルダーの方々に対し、一方通行の情報発信ではなく、双方向のコミュニケーションが重要と考え、対話集会などを開催してきました。2004年6月4～5日には、各分野におけるCSRのオピニオンリーダーをお招きして「インターナショナル・ステークホルダー・ダイアログ」を開催し、富士フイルムのCSRについて深く考える機会を持ちました。

このダイアログではCSRに関する具体的な課題やビジョン、計画の重要性、経営トップを含めた全社員への浸透の重要性などについて議論が重ねられ、当社のCSR活動を推進するうえで大変有益なものになりました。今回のような国際的なダイアログは日本では初めての取り組みであり、この企画に対して参加者からも高い評価をいただきました。

お招きしたオピニオンリーダー

トム・デルフガウ氏
巨大多国籍企業「ロイヤル・ダッチ・シェル社」において、廃棄物問題・人権問題に取り組んできた初代CSR担当役員。

エイドミニ氏
投資顧問会社「ドミニ・ソーシャル・インベストメンツ」のCEOを務める、米国におけるSRIファンドの草分け的存在。

筑紫みずえ氏
日本でエコファンドを立ち上げた格付け機関「（株）グッドバンカー」代表取締役社長。

サイモン・ザデック氏
富士フイルムが、「社会・環境レポート2004」から採用する「AA1000」を提唱する、英国NGO「アカウンタビリティ」の最高責任者。

財務諸表

平成16年4月1日～平成16年9月30日

連結

■貸借対照表

単位：百万円

科目	平成16年度中間期	平成15年度中間期
(資産の部)		
流動資産	1,485,798	1,465,650
投資及び長期債権	381,817	397,739
有形固定資産及びその他の資産	1,129,193	1,143,564
資産合計	**2,996,808**	**3,006,953**
(負債の部)		
流動負債	721,646	734,174
固定負債	328,830	451,480
少数株主持分	114,984	117,651
(資本の部)		
資本金	40,363	40,363
資本剰余金	68,135	68,135
利益剰余金	1,768,979	1,687,912
その他	△46,129	△92,762
資本合計	**1,831,348**	**1,703,648**
負債及び資本合計	**2,996,808**	**3,006,953**

■損益計算書

単位：百万円

科目	平成16年度中間期	平成15年度中間期
売上高	1,252,925	1,259,779
営業利益	101,302	93,715
税引前利益	105,935	81,063
中間純利益	52,706	41,112

単独

■貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	平成16年度中間期	平成15年度中間期
(資産の部)		
流動資産	625,240	581,394
固定資産	1,134,300	1,110,374
資産合計	**1,759,540**	**1,691,769**
(負債の部)		
流動負債	193,559	169,449
固定負債	39,439	37,980
負債合計	**232,999**	**207,430**
(資本の部)		
資本金	40,363	40,363
資本剰余金	58,980	58,980
利益剰余金	1,414,226	1,374,894
その他	12,972	10,101
資本合計	**1,526,541**	**1,484,338**
負債及び資本合計	**1,759,540**	**1,691,769**

■損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	平成16年度中間期	平成15年度中間期
売上高	395,528	376,339
営業利益	25,729	37,692
経常利益	37,865	40,404
税引前中間純利益	31,449	38,090
中間純利益	24,190	26,117

注）平成16年度中間期 連結損益計算書には、富士ゼロックス厚生年金基金の代行部分を返上したことにより生じた利益の額が含まれております。

株主と株式の概況

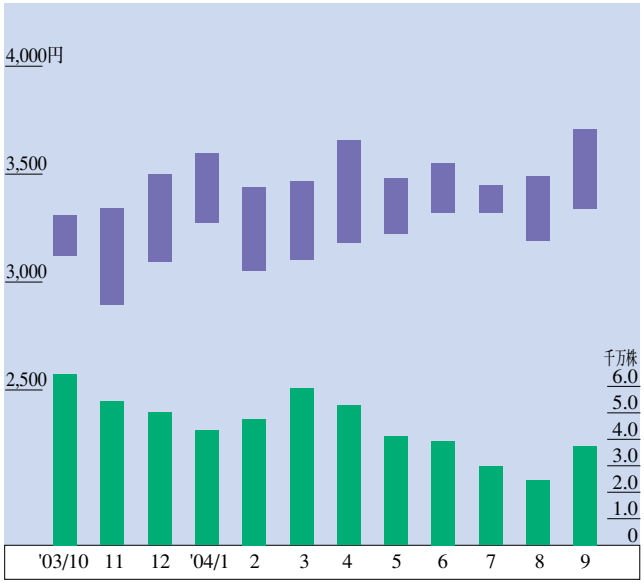
■株式の状況

	平成16年度中間期	平成15年度中間期
株主数	29,737名	28,051名
発行済株式数	514,626千株	514,626千株

■所有者別分布（株式数と比率）

	平成16年度中間期	平成15年度中間期
金融機関	216,392千株(42.0%)	215,883千株(41.9%)
証券会社	1,667千株(0.3%)	3,993千株(0.8%)
その他法人	19,299千株(3.8%)	19,543千株(3.8%)
個人・その他	46,392千株(9.0%)	46,519千株(9.1%)
政府・地方公共団体	0千株(0.0%)	4千株(0.0%)
外国法人等	230,876千株(44.9%)	228,684千株(44.4%)
計	514,626千株(100%)	514,626千株(100%)

■株価（高値・安値）及び株式売買高の推移



株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

■ 株価
■ 株式売買高

会社概要

- **設立** 昭和9年1月20日
- **資本金** 40,363百万円（平成16年9月30日現在）
- **従業員数** 9,590名
- **本社** 神奈川県南足柄市中沼210番地
- **東京本社** 東京都港区西麻布二丁目26番30号

インターネットで当社に関する情報がご覧になれます。
URL http://www.fujifilm.co.jp/

株主メモ

- **決算期** 3月31日
- **定時株主総会** 6月下旬
- **公告掲載新聞** 日本経済新聞
- **名義書換代理人** UFJ信託銀行株式会社
- **同事務取扱所**

UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂 7-10-11
電話（0120）232-711（フリーダイヤル）

照会先
株式の各種お手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話及びインターネットで24時間承っております。
受付フリーダイヤル 0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪支店証券代行部）　} 自動応答
URL http://www.ufjtrustbank.co.jp/

- **同取次所**

UFJ信託銀行株式会社　全国各支店
野村證券株式会社　全国本・支店

- **1単元の株式数の変更**

2004年9月1日より、当社株式の売買単位である1単元の株式数を、1,000株から100株に変更いたしました。

- **単元未満株式の買取請求および買増請求について**

単元未満株式（1株から99株の株式）の買取請求（ご売却）及び買増請求（ご購入）については、上記の事務取扱所・取次所でお取扱いたしております。ただし（株）証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出ください。

なお、当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ《http://www.fujifilm.co.jp/》に掲載しております。

FUJIFILM
富士写真フイルム株式会社
〒106-8620 東京都港区西麻布2丁目26番30号
電話 (03)3406-2111(大代表)

R100 本誌は古紙配合率100％再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 本誌はアメリカ大豆協会が認定する環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
GPN Green Purchasing Network 印刷サービス

FUJIFILM
I&I-Imaging & Information

君の★おとぎ話に

NEW!

ターコイズグリーン

ケータイプリンタ Pivi

(((ケータイ写真を、ピッと送ってビッと出す)))